

東京鉄鋼販売業連合会（会長・井上憲二明治鋼業社長）は15日に東京・茅場町の鉄鋼会館で第21回将棋大会を開催。過去最多だった前回大会（42人）を上回る53人が参加した。50人超えは初めて。



左から大橋実行委員長、鈴木氏（Bクラス優勝）、新井氏（Aクラス優勝）、勝又氏（C2クラス優勝）、今井氏（C1クラス優勝）、島井審判長

東鉄連 将棋大会

過去最多、総勢53人が参戦

Aクラス優勝は新井氏（西山鋼業）

参加人数の漸増を受け、前のある鈴木善多氏（オーツカ回大会から将棋初心者クラス 鉄鋼販売）が初優勝。鈴木氏はC2クラスを創設しておは第11回、15回大会でC1クラス（当時Cクラス）優勝。C2の4クラスに分かれてを果たしている。

静かな また、C1クラス（9人エントリー）の優勝者は、前回大会でC2クラスの3位だった。今井勇太氏（阪和興業）が、C1クラスを一つ上げての初優勝。C2クラス（18人エントリー）は、勝又祐一氏（日本製鉄）が初出場で初優勝となった。

東鉄連将棋大会は、大橋秀人実行委員長（東洋シャーリング工業社長）のもと過去6大会連続で最多エントリー記録を更新中。活性化を背景に、2018年度から年2回開催となっている。審判長は、今西山鋼業、三段）が悲願の初優勝を果たした。

前大会準優勝の新井正之氏（西山鋼業、三段）が悲願の初優勝を果たした。Bクラス（12人エントリー）は、第17回大会で準優勝経験 鋼関連・流通加工」版に詳細

▼あす19日付6面の「鉄